国・都・区の重点的な取組

◇GIGA スクール構想

◇令和の日本型学校教育（中教審）

◇グローバル人材の育成

学校教育目標

「予測困難な時代」をたくましく生きる日本人として、持続可能な社会の実現に向けて多様性を理解・尊重し、自ら課題を解決する力や豊かな人間性、社会性の基礎を培う。

○　か　し　こ　い　子

○　や　さ　し　い　子

○　げ　ん　き　な　子

社会的背景

◇Society 5.0 社会（IoT と AI の社会）

◇予測困難な社会情勢（ポスト・コロナ社会）

◇少子高齢化と人口減少（持続可能な社会）

児童の実態

○一人１台タブレット端末

○学年に応じた活用能力を培う

教師の願い

○ICT と従来の学習方法の融合

○児童が主体的に学習する授業の探究

研究主題

令和を生きる子供たちの学びの実現

～児童が主体的に学習する授業モデルを考える～

研究仮説

○ICT アプリやツールと従来の学習方法を組み合わせたり、自ら効果的な方法を選んだりすることで、児童が主体的に学習し、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる力を培うことができるだろう。

目指す児童像

「情報技術を生かした学習と従来の学習のそれぞれのよさを知り、

効果的に使い分けることで主体的に学習する児童」

各分科会の目指す児童像

低学年：情報技術と従来の学習のそれぞれの良さに気付き、楽しんで学習する児童

中学年：　　児童

高学年：情報技術を生かした学習と従来の学習のそれぞれのよさを生かし主体的に学習しようとする児童

神明学級：　　児童

研究のねらいと視点

情報技術を生かした学び

「ICT アプリの活用」

「タブレットを活用した

インプット・アウトプット」

従来の学び

「児童と教師・児童同士の

話し合い、関わり合い」

「『書く』活動」

ＩＣＴの効果的な活用

「みなみのスタンダード」

「情報活用能力指導計画」

による段階的な

ＩＣＴスキルの獲得